

同表彰は文部科学省が、学校・家庭・地域が連携して行う学校支援の中で優れている活動を対象に選ぶ。本年度は全国で143団体が行う。本年度は全国で143団体が受け、県内では同教室だけが選ばれた。

同教室は地域の大人が講師、世話人となって放課後、東春振小の1、4年生に赤熊太鼓、ハンゲーム、オケストラなど地域の文化や昔遊び体験などを指導する。毎週通う反省で、これ考え、児童の世話をするコーディネーターの女性には「私が強い頃は地域の人々と一緒に遊んでいた。その楽しさ子どもたちにも味わってもらいたい。子どもたちの楽しそうな顔をみるとやいかに感じる」と話す。

12月17日の餅つき体験には約30人の児童が参加し、大人のアドバイザーを受けながら子ども用の小道具などを使って挑戦した。参加した桐木里々華さん(9)、井上馨和さん(10)は「自分でついたものがすくおいしかった。教室ではみんなで遊んだり、いろんなことができて楽しい」と笑顔を見せる。

同町では、地域の協力を得て子どもの安心安全な居場所づくりとして放課後子ども教室を開催。三田川小の児童を対象にした「わくわく子ども教室」も実施している。(江下啓子)

海越えた友情深める 韓国の初等学校と交流

基里浦市

基里浦市の基里浦小(小)と、韓国の基里浦市(小)の冠山南初等学校の子ども川徳晃校長)の子ども

たちが19日、佐賀県と友好交流協定を結んでいる韓国・全羅南道し、最後に手作りの名刺をプレゼントした。

交流した。互いの文化を紹介し合君(12)は「外国に友達ができ、とて海を越えた友情を深めた。冠山南初等学校の子どもたちと、井上馨和さん(10)は「自分でついたものがすくおいしかった。教室ではみんなで遊んだり、いろんなことができて楽しい」と笑顔を見せる。

同町では、地域の協力を得て子どもの安心安全な居場所づくりとして放課後子ども教室を開催。三田川小の児童を対象にした「わくわく子ども教室」も実施している。(江下啓子)

表。韓国でもアミのクムシ(杉原孝幸)



基里浦小の4年生から手作りの名刺を受け取る韓国・冠山南初等学校の子どもたち(右)＝基里浦市の基里浦小

唐松

唐津市 東松浦郡

締まる。今年おひがのな(大河内はるみ会長、会員25人)は8日、唐津市七山へ。子どもたちの健全な成